

### ●市に望む重点施策

順位	項目	要望の割合 %	前年度順位	要望の割合 %
1	下水道・排水溝の整備	11.6	1	12.5
2	保健衛生、医療の充実	9.8	4	6.5
3	道路の整備	8.4	3	7.0
4	自然環境の保全	6.2	2	8.0
5	交通安全、防犯対策の推進	5.5	9	5.0
6	児童施設の整備	5.4	14	2.7
7	学校教育の充実	4.9	13	3.1
8	環境衛生の充実	4.3	5	6.4
9	消費者対策の充実	4.1	7	5.2
10	住宅問題の解決、宅地対策	4.1	12	3.2
11	公園、遊園地の整備	4.0	10	4.3
12	スポーツ施設、レジャー施設整備	3.9	18	2.2
13	し尿、ごみ処理の強化	3.8	6	5.6
14	社会福祉施設の整備	2.7	8	5.1
15	文化施設の整備	2.6	16	2.5
16	市民サービス、事務能率の向上	2.5	20	1.6
17	商店街の振興	2.3	15	2.6
18	上水道、水資源対策	2.3	17	2.3
19	公害対策の充実	1.9	11	3.9
20	消防対策の強化	1.6	21	0.9
21	青少年の健全育成	1.4	19	1.9
22	町会自治会活動の強化	0.8	23	0.7
23	中小企業の育成	0.8	24	0.7
24	近郊農業の育成	0.6	22	0.7
25	観光資源の開発	0.3	25	0.2

# 医療の不便さがトップ

## 第3回 市民意識調査の結果

### 51%に“ふるさと”の芽生え

青空と緑がある	30.3%
東京に近い	20.6%
田園的なふんい気が残っている	12.5%
特になし	11.2%
飲料水がよい	10.3%
公害がない	6.3%
工業団地と住宅が区別されている	5.2%
その他	2.0%
回答なし	1.6%

項目	49	48	47
住みよい	45.5%	44.1%	48.8%
住みにくい	7.3	8.6	8.0
どちらとも言えない	44.2	43.8	41.3
わからない	1.1	1.0	—
回答なし	1.9	2.5	1.9

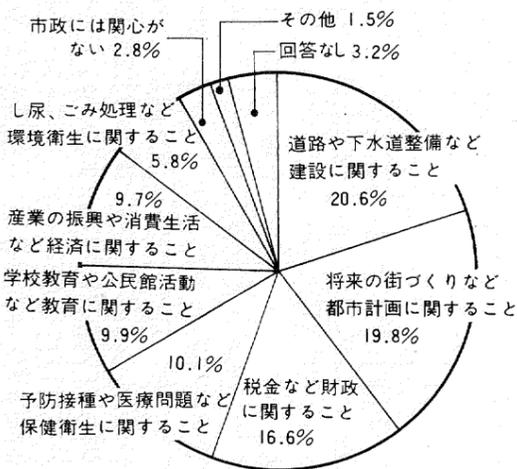
### ●柏市のよさ

### ●住みよさ

市民が柏市という生活共同体の中で最も不満、不便に思っているのは何か、市役所に望む重点施策は、そしてあなた自身はどう協力してゆこうとしているのか。本年一月から二月にかけて実施した、第三回市民意識調査の結果がまとまりました。各項目別では「柏のよさ」は青空と緑であるとし、「住み心地」については各項目ともほぼ良好と答えながら、「市に望む重点施策」では、下水道・排水溝の整備をトップに第四位に自然環境の保全をあげ、今後の街造りへの警鐘を与えています。「不便な施設」では、依然として医療・病院の整備であり、第六位までの要望が昨年の調査とまったく同一という結果が表われています。また「ふるさと意識」では五十一%の人が柏市への愛着をもっている、と答えています。

### 青空と緑がよい

### ●市政への関心



**調査はこうして**  
○調査対象 柏市内に居住し、昭和四十九年十一月一日現在住民基本台帳に、登録されている成年男女から、等間隔無作為抽出による二千四百五十九人。○調査期間・方法 昭和五十年一月二十五日から二月十日まで。郵送法。○有効回収数 九百四十三(回収率三十八・三%)。男子四百七十四(三十三・〇%)。女子四百三十三(四十二・六%)。○郵送不着数六十九(二・八%)

市民意識調査関係記事二・三面に掲載。なおこのため「お隣りさん」と「現場ルポ」は休ませさせていただきます。

市内全域でみた場合 (上位10位まで)	不便の割合
1	13.4%
2	10.1%
3	8.1%
4	6.6%
5	4.6%
6	4.3%
7	4.0%
8	3.6%
9	3.3%
10	3.3%

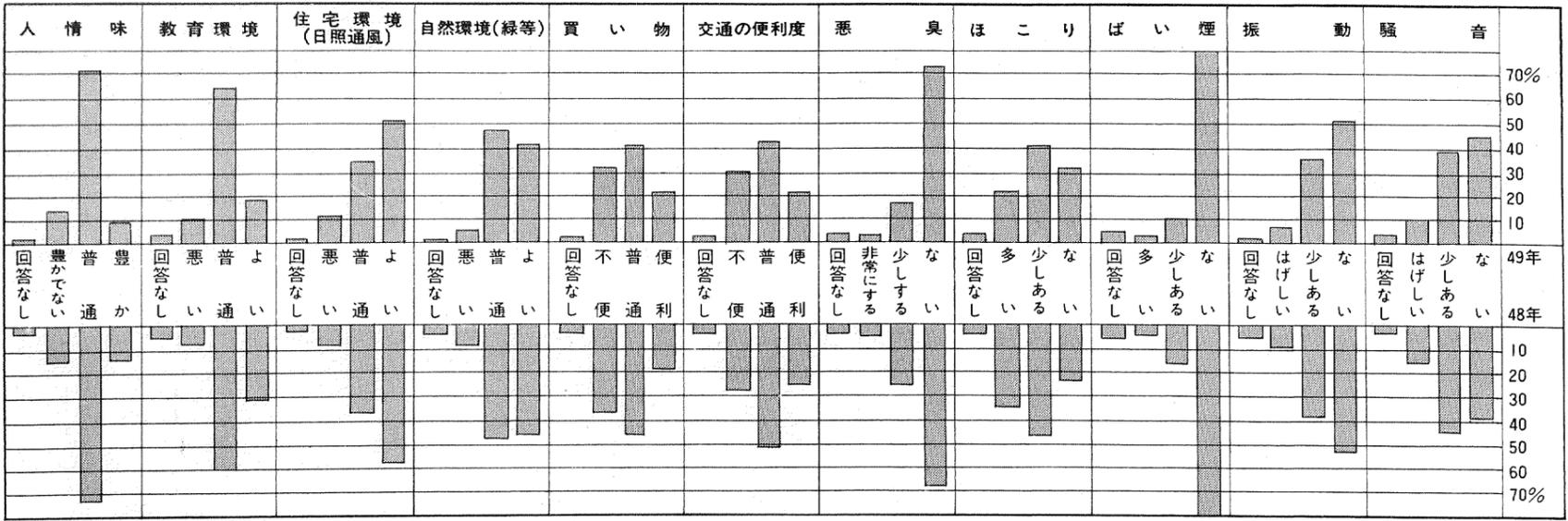
### ●あなたが不便に感じる施設は

学区別に見た場合 (上位五位まで)	不便の割合
①市役所・出張所	6・0%
②市役所・出張所	6・0%
③市役所・出張所	6・0%
④市役所・出張所	6・0%
⑤市役所・出張所	6・0%

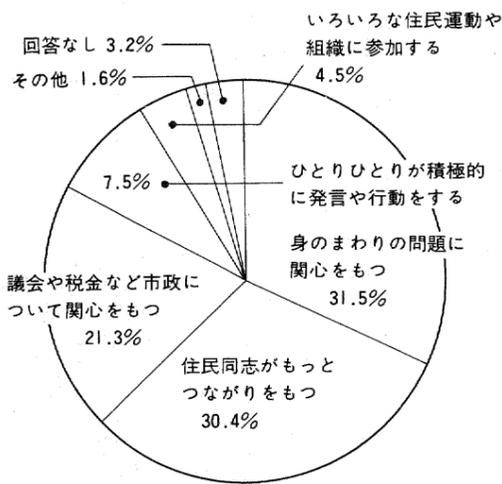
学区別に見た場合 (上位五位まで)	不便の割合
①市役所・出張所	13・1%
②市役所・出張所	8・5%
③市役所・出張所	8・5%
④市役所・出張所	8・5%
⑤市役所・出張所	8・5%



住みごころの感想



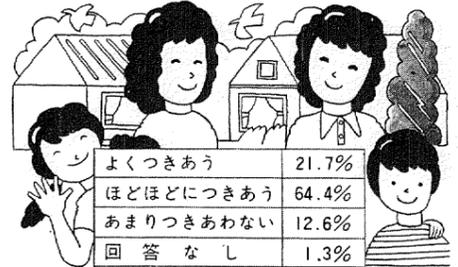
あなた自身の努力は?



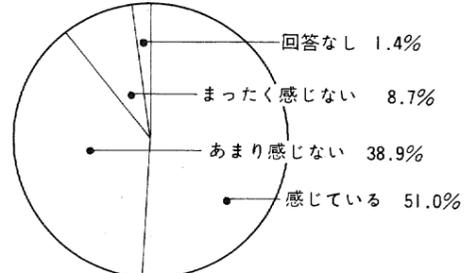
組織や団体の必要性

項目	加入割合
町会、自治会、部落会	69.0%
P T A	22.8%
子ども会	17.4%
参加していない	15.0%
老人クラブ	7.5%
婦人会	4.9%
その他	4.8%
消防団	1.4%
青年団	0.7%
回答なし	5.4%

参加している組織・団体



近所づきあい



ふるさと意識

昭和四十七、四十八年度に続いて、第三回目にあたる市民意識調査の結果がまとまった。この調査は首都東京の近郊都市として刻々と変化をみせる市民意識の実態を的確にとらえ、民主的な行政執行の資料に供するため始められたものである。今回の回収率は三十八・三%と、この種の他市の調査と比較し、特に低いものではないが、六十%強の「語らざる」市民層の声も、「声なき声」として大切だという意見もあり、調査の基本的な方法と技術的な再検討を加えていかなければならない。

さて、調査での最大の関心事、住民の各種の不便度をみると、その上位六位は昨年と全く同じで、しかも全体の中で占める比率も類似していることから基本的には不便なものの実態は的確なものとは握りたいし、今後の市政の重点施策実現への有力な資料ともなるものである。ここで注目されるのは、病院、警察、保健所という市行政の中で、解決しがたい三つの要望の強いことである。これは、住民の側からすれば、国、県、市にかかわらず公的機関としての整備を求めるところで、それはまた本市の行政的対応を必要とし、さらに数字上あらわれないが、ここに医療問題などについては関係機関の総合的な連携、受け入れ態勢の充実、生涯医療への体系化を求めているといえよう。

完成五十二年見込み、ベッド数、診療科目は現在協議中など、明瞭な見通しを得ているが、こと人間の生命にかかわる問題だけに、施設の整備とともに機能的な充実を急がねばならない。人口急増地帯として、地域の発展が急なだけに問題も累積しているが、県当局に施設の設置方を働きかけている。交番については、昭和四十七年に南部地区へ設置。現在、光ヶ丘、北柏駅周辺を要望しており、当局も検討中である。

結果をどう生かす 迫られる行政の対応

ここに「近所づきあい」の質問では、ほどほどに六十四・四%となら、一あなた自身の努力は」について、住民同志が「つながりをもつことが大切」というのが、市民の市政の関心協力をお呼びかけていくか、新しい都市問題として数多くの問題が内在されているように思う。各行に市民の訴えたい要望や意見の集約が、示されたこれらの意識調査結果を十分に受けとめ、今後の行政の指針として実現への努力の資としたい。

このため、こうした種々の声を総合的にとらえ、市の長期的な街造りの基本方針に組み入れ(各部門計画や三カ年計画への反映)を図り、予算の重点配分、関係機関への働きかけ、住民のコンセンサスを獲得するための努力を長期にわたって積み重ねることが肝要と思う。

住民の最も関心事は、調査結果を行政がどう受け入れ、実現していくであろうかという点にあるはずである。柏市も人口急増都市として、また不況、石油ショック、人件費の高騰により苦しい地方財政の状況下にある。しかし、真に住民本位の住みよい街造りには、障害を乗り越え、こうした目的の達成に努めなければならないことはいくらでもな。

過去の公共投資への反省点、今後の展望などが推察できる貴重な資料と思考されるが、この学校割りは、市の公的な類型としての地域割りとして明確に定められたものではない。このため各部門の参考資料との照合に難点がある。やはり財源の効率的配分、住民の利便度、将来のコミュニティ計画にもかかわる重要な基礎資料になることが予測され、こうした面への改善努力が合理的、科学的な分析に立って進めなければならないと思われる。

住民の最も関心事は、調査結果を行政がどう受け入れ、実現していくであろうかという点にあるはずである。柏市も人口急増都市として、また不況、石油ショック、人件費の高騰により苦しい地方財政の状況下にある。しかし、真に住民本位の住みよい街造りには、障害を乗り越え、こうした目的の達成に努めなければならないことはいくらでもな。

住民の最も関心事は、調査結果を行政がどう受け入れ、実現していくであろうかという点にあるはずである。柏市も人口急増都市として、また不況、石油ショック、人件費の高騰により苦しい地方財政の状況下にある。しかし、真に住民本位の住みよい街造りには、障害を乗り越え、こうした目的の達成に努めなければならないことはいくらでもな。

市民相談

法律相談	7日 21日 10時~4時 14日 1時~4時	市民相談室 (市顧問弁護士)
人権相談	15日 市民相談室 10時~3時	(人権擁護委員)
行政相談	25日 市民相談室 10時~3時	(行政相談委員)
交通相談	10日 市役所第4会議室 23日 市役所地下和室 10時~3時	(県交通相談員)
移動少年相談	12日 中原小学校 1時~5時	(児童相談所係員、市役所職員)
結婚相談	毎週水曜日 10時~3時 毎週日曜日 1時~3時	中央公民館
心配ごと相談	毎週水曜日 中央公民館 10時~3時	
消費生活苦情相談	毎週木曜日 消費生活センター 10時~4時	(県消費生活苦情相談員)
家庭児童相談	毎週月曜~金曜日 9時~4時 土曜日 9時~12時	福祉事務所 (家庭児童相談員)

六月十三日 六月定例市議会招集日。議員にとっては任期最後の議会となるため、開会前に庁舎玄関前で記念撮影。市政一般報告、議案の上程等をして終了。

六月十四日 社会党市議団が陳情に来庁。終わったところへ柏南高校長が「遅ればせながら開校の挨拶に」と来庁。続いて、柏市さつき会による花季展示会の賞状授与式に柏商工会館へ「第一回花季展示会が盛況の内に終了したことは喜ばしい。今後ともこの会を名実共に立派な会にしよう」と、市長も好きなだけに熱の入った挨拶。

六月十六日 議案質疑

六月十七日 市議会常任委員会

六月十八日 議案、請願、陳情の採択。

六月十九日~二十四日 一般質問。

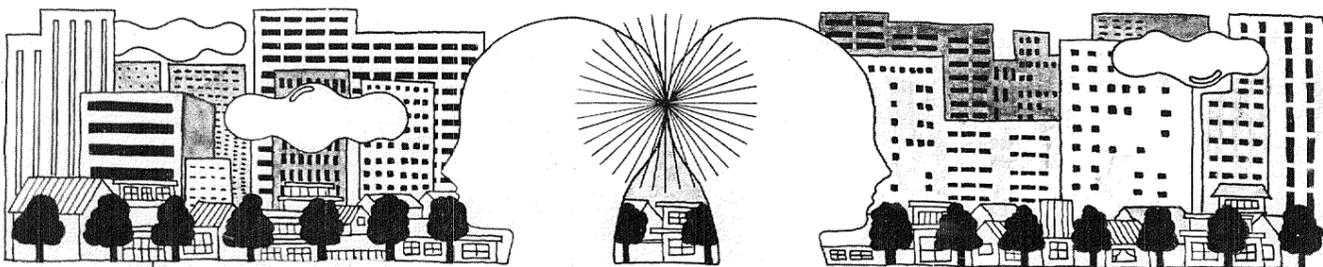
秘書室から

五月三十一日 流山市役所会議室で開催の東葛中部地区事務組合議会に出席。

六月二日 助役の任期更新依頼に自治省へ。鎌田事務次官、合志理事官に面会、了解を得る。

六月三~四日 鴨川グランドホテルで開催の全国市長会関東支部総会に出席。市長の開会挨拶により会議が始まり、全国市長会に提案する関東各県から出された各種要望議案について審議。

六月九日 公設卸売市場内に、三カ年継続事業により水産部門を設置する、その参考とするため、徳島市の公設卸売市場を視察。



# 調査についての私の感じ

東京から引越してまだ一年。柏市全体についての知識もあまりない私ですが、この意識調査の結果を見ているだけでも、柏市に住んでいる皆様が何を考え、望んでおられるかということがよく理解できました。またこのような前向きな調査を進めておられる、市の行政の力がたご努力に対し、深く敬意を表しております。

まず「あなたが不便に感じる施設」では、病院・病院、



主婦 西村幸子さん

「医療」の充実を努力を傾けて欲しいのです。次に治安の問題です。調査では警察・交番の必要性が毎年上位を占めているのをみて、もわかりますように、市民の



大学教授 高橋潤一郎さん

今回柏市が実施した第三回「市民意識調査」は、きわめて流動的、異質的な市民の意識を明らかにしたものと興味があります。ただ、アンケート調査の通例として、これがそのまま市民意識を反映しているかどうかは、若干の留保が必要です。

また、回収率三十八％はこの種のアンケート調査では、決して低いものではありませんが、問題はこの六割にも上らない「無関心者」の存在です。なぜなら市民意識調査の本来のねらいは、この「六割」の意識を探ることにあるはずだからです。

医療、保健、衛生に関連していることは、住民の要求がどこにあるかをめいりょうに反映するものといえます。アメリカの心理学者マズローは、人間の欲求が段階的に現れるものとし、最も低い第

今回の意識調査から、私が感じたことを追って卒直に申し上げます。

まず「住みごころの感想」の中で騒音、振動、ばい煙など主観的、個人的な差もあり多少問題はありますが、大体住みよい都市に間違いのないと思われまふ。しかし交通の便、利便、買物の不便などは、人口が市の中心部から郊外へと移っていく現在、この傾向は当然やむをえないものと思われまふ。また住宅環境、自然環境についても「よい・普



役員 青 廣中 白郎さん

保健所をあげている人がたくさんいます。これは、私が前に住んでいた世田谷区と比べ、特に「総合病院」設置の必要性を痛感しています。二十四

然環境については満足しており、他方交通や買物など都市の利便については多少とも「不満」をもっているといえます。次に「あなたが不便に感じる施設」については、上位六位までが前回と同じものであり、しかもほとんどが

## 「医療」と「治安」を最重点に

多くがその不満を感じ、生活している。今後人口の増加が予想されますので、これに伴い私たちが安心して生活できるような警察力の強化を図

一段階の生理的欲求から、安全、帰属、尊重、そして最も高次の自己実現化への欲求まで五段階に区分してあります。柏市の住民の要求は、「安全」を求めると同時に「治安」を求めている方向に集中して

住民の「不便さ」は、単に交通や買物に対してのみで

## 明確に示された市民要望

は、身体的安全を保障する諸施設に対する、より切実な要求を反映しているものと思われまふ。また「市政への関心」をみると、住民は限

ある予算をできるだけ有効に用いて、自分たちの現在必要とするサービスの供給を求

現に私の住む東山でも三年ほど前から下水道の問題に取り組みはありますが、ちがいがあらず困っています。重要な問題です。ぜひお願いしたいものです。

## 計画的な行政執行を

「市に望む重点施策」の項は、下水道・排水溝の整備、保健衛生、医療の充実、道路の整備と発展途上の柏市を浮き彫りにしていると思われまふ。「市政への関心」について

「医療」の充実を努力を傾けて欲しいのです。次に治安の問題です。調査では警察・交番の必要性が毎年上位を占めているのをみて、もわかりますように、市民の

か。一日も早く複線化、また本数の増加を願ってやみません。

また、調査にはありませんが、郵便物の遅れ、運送配達区域外としての取り扱い、国鉄の荷物の柏駅止め扱いなど日常の不便さも改善していただきたいと思われまふ。柏駅前

のすばらしい発展を見るにつけ、その格差を感じまふ。以上いろいろと書きまふが、柏市に住んでみて日常の住みよさ、自然を含めた住み

また「あなたが自身の努力をみると、約三割の人々が「身のまわりの問題」に関心をもち、まだまだよいとして、やはり約三割の人々が「住民同志がもっとつながりをもちたい」と答えているのは少な

また「あなたが自身の努力をみると、約三割の人々が「身のまわりの問題」に関心をもち、まだまだよいとして、やはり約三割の人々が「住民同志がもっとつながりをもちたい」と答えているのは少な

つまり人々は、一方では理想の市民像とは何かをはっきりわきまえており、聞かれればそう答えるが、他方現実にはそのようには行動しないという奇妙な結果がでていま

ともあれ意識調査で重要なものは、あくまでも実態であり現実の市民像をとらえることです。そしてこれら市民の実態に相応した施策を打ち出すことであると思われまふ。

しょうか。多くの急増都市にみられる「てつ」を踏まないことを念じています。

このデータの示すように、生活環境のおおのを見てもまた住み心地についての意識も既にその限界に近づいてい

柏市は、緑と青空がいつもでも自慢ができるようにあって欲しいものです。私もこの地を「ふるさと」として、ふるさとづくりを呼びかけているものです。

（東山二丁目七二八在住）



## 水戸街道

常磐線の南側を小金方面から我孫子へ通じる道路は、「旧国道」と呼ばれていますが、これは江戸時代の水戸街道です。水戸以北の磐城、相馬街道とあわせ、陸前浜街道ともいわれていま

水戸街道は、幕府の親藩である水戸藩をはじめ、多くの大名が藩地と江戸との往来に使いました。文政五年（一八二二）の記録によれば、二十二番の大名が参勤交替に通っておりま

特に、世情騒然の幕末には、混雑をきわめていました。街道には宿場町が発達しましたが、この付近には取手、我孫子、小金、松戸などがありました。

重要な街道ですから、江戸幕府は並木の保存や修復などに意を注ぎました。これは明治新政府になってからも続けられ、明治六年に道路に等級をつけたり修築の規定を制定したりしま

た。このとき、水戸街道は二級道路に指定され、沿道住民には三カ月に一度の修繕、掃除が義務づけられました。

明治九年六月に道路法が制定され、水戸街道は県道となりま

した。さらに明治十三年には、国道昇格のための大規模な改修工事が行われていまふが、これに要する費用は沿道住民に課せられました。たとえば谷新田のような小村でも最初の割り当てですと三百円五銭で、負担は

かなり重いものでした。そこで同年五月には、谷新田、小金、上町新田、中新宿村などの村々

は、負担軽減の嘆願書を提出していまふ。

この国道は、昭和三十一年に今の国道六号線が開通すると、格下げされ、現在は松戸―柏駅前間を「県道松戸―柏線」と呼び、そこから我孫子境までを「市道七七号線」および「市道二二三号線」といいますが、まだ、「旧国道」といっても通じるよう

（市史編さん係）

# 家庭だばばママの

## 赤ちゃんの育児相談

赤ちゃんの育児相談  
保健婦がお受けします

▽七月八日 南部青年館 ▽九日 藤心第三青年館 ▽十日 社会福祉センター ▽十一日 勤労青少年ホーム ▽十五日 あげほの青年館 ▽十六日 新青田青年館 ▽十七日 市民サロン ▽十八日 豊四季台団地集会所 ○受け付け時間は午後一時半〜三時

○持参品 母子手帳、バスタオル  
久齒発生の幼児と妊産婦  
歯科衛生相談所の開設と  
虫歯予防にフッ素塗布を

市では、歯科医師会の協力で、「歯科衛生相談」と「歯みがき指導とフッ素塗布」を次により行います。

▼歯科衛生相談 ○とき 七月九日と二十三日午後一時〜三時  
○ところ 市役所一階母子保健相談室

# 市民生活

## 通学路の安全対策を



深田 順次 (会社員) 布施二一〇 〇一九六

私の子どもは今年から富勢小学校に通っていますが、通学路の大半が車道で非常に心配です。このような通学路の安全対策はどのようなになっているのでしょうか。

「お答え」 通学路の安全対策については、随時各小中学校の交通安全主任者会議を行って検討しています。その中で通学路の現状や問題を話し合い、改善策を協議してその具体策(標識、信号、ガードレールなど)の整備を行っています。また、交通指導員による交通安全教室や登下校時の街頭指導などを行い、生徒が安全に通学できるように努力しています。

なお、富勢小学校通学路の安全対策については、学校から土谷津入口まで路側帯を設置するように県の土木課へ要請し、布施入口から

名 千円 ▽(財)小原流千葉北支部 十萬四千円 ▽ホザナ幼稚園 一萬二千五百三十一円 ▽飛田英男さん(根戸)二千元 ▽匿名千円 ▽柏市簡易料理店組合 一萬 十五萬五千九百九十九円。

## 夏のスポーツ教室

種目はテニス・水泳・民踊  
今年も、夏季スポーツ教室を次のとおり行います。ふるってご参加を。申し込み 七月三日午前八時半から保健体育課(内線二七二)へ直接どうぞ。費用は無料。

種目	と き	と ころ	対 象
民踊	7月29日(土) 午後5時〜7時	中央公民館	一般市民 60人
水泳	7月24日(土) 午後5時〜7時	東市アール	女性60人以上 25m泳げない人
軟式テニス	7月29日(土) 午後5時〜7時	総合運動場	高校生以上 50人

## 姉妹都市派遣団決定

九日にはト市からも来柏姉妹都市委員会で募集した、米トローランス市へ派遣(八月四日)

より、さらにきれいになっていきますが、目には見えないような小さな虫歯のある人もいます。毎日よく歯をみがくことが大切です」と話してくれました。

審査の結果、小学校の部では、土南部小六年の今川育夫君と中原小六年の吉井里江子さんが、中学校の部では、柏二中三年の秋山栄治君と富勢中三年の小林延江(のぶえ)さんが、それぞれ一位に選ばれました。

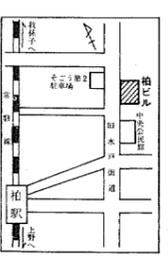
# 子ども



歯を磨く先生がたによらる各代表  
審査される

## 中小企業主に福音

国金柏出張所開く  
政府の金融機関である国民金融公庫松戸支店の柏出張所(63-1543)が、六月二日、柏ビル(柏七丁目四二四)の七階に開店しました。



国民金融公庫は、銀行やその他の一般の金融機関から、資金の融資を受けることが困難な中小企業主を対象に、必要な事業資金を長期・低利率で融資するものです。主な融資には、最高融資額一千万円、年利九・四%

【訂正】本紙六月十五日号二面「市の台所はこうです」の中で、一般会計執行状況「歳出」の総務費支出額「十八億三千六百万円」を「十八億三千四百万円」に支出額「二十四億七千七百三十四万八千円」を「二十四億七千六百六十九万九千円」に訂正します。

森 正孝君(柏八小)、莊司晴子さん(柏八小)、高野俊彦君(土中)、山野井淑恵さん(土中)、知久正正君(柏五小)、落合政江さん(手賀西小)、石井晴人君(田中中)、深山宏美さん(手賀中)。

## 七月のこよみ

七夕・夏休み  
つゆあけは、今月下旬ですが七月の声を聞くと、故郷の海や山に思いをはせる人も多いのではないのでしょうか。市内小中学校の臨海・林間学校も、これから八月いっぱいまで続きます。

の「普通貸付」や、事業の種類や用途に応じた「食品・流通・安全などの貸付」があります。柏出張所では、これら貸付金の融資相談や借り入れ申し込みの受け付け、審査などを行っていますので、お気軽にご相談下さい。営業時間は平日午前九時から午後三時(土曜日は正午まで)、日曜・祝日は休みです。

老齢年金を受けるには、六十歳までに二十五年以上の保険料を取めなければなりません。保険料は、納期を二年過ぎると時効により納付できません。しかし、時効となったかたには未納分をまとめて納めていただく、一度失った年金が取りもどせません。お心当たりのかたは、保険年金課(内線二〇一)へ。

各町会ごとに回覧でお知らせしたとおり、今日から次の地域で収集日が変更になります。

○月、水、金から火、木、土に変更した地域 呼塚町会、東台町会、荒久山団地、羽根台町会、助解山町会、城山町会、弥生町、東二丁目、東三丁目、八幡町、柏学園、戸張、刈込、井戸田台町会、柏アパート、下町の一部、葉山町会の一部、関場町の一部、○火、木、土から月、水、金に変更した地域 光ヶ丘団地、○豊四季台団地は月、水、金と火、木、土に分けて収集していましたが、火、木、土に統一されました。

市民ハイキング募集  
テニスコースも実施

消費生活相談所を開設  
お気軽にご利用を

コースで七十五人 ○申し込み七月四日午前八時半から保健体育課へ費用を添えて直接どうぞ  
高齢者の職業相談室  
市民サロンに開設

水道の委託集金員募集  
申し込みは十日まで

あなたも映写の技術を  
十六ミリ操作講習会

販売士の検定試験  
三級をめざすかたへ

菅平かしわ荘  
案内

松戸職業安定所では、五十五歳以上のかたのために職業相談室を開設します。○とき 七月一日から(水曜・日曜・祝日を除く)午前十時〜午後四時 ○ところ 市民サロン(63-1545)へ。ファミリーかしわ三階へ。

五日に民踊講習会  
一般のかたどうぞ

臨時職員を募集  
職種は看護婦

あいつる日  
八月 25日(六月二十日現在) ○申し込み ご利用の三日前までに市役所庶務課(内線二五四)へ

あいつる日  
八月 25日(六月二十日現在) ○申し込み ご利用の三日前までに市役所庶務課(内線二五四)へ